

2023年1月27日

原料費調整制度に基づくガス料金の調整について(旭川地区)
(2023年3月検針分)

旭川ガス株式会社
(小売登録番号: B0003)

当社では、本日確定した2022年10月から2022年12月の平均原料価格に基づき、2023年3月検針分のガス料金(単位料金)を、2023年2月検針分に比べ1m³あたり9.09円(税込)下方に調整させていただくこととなりましたので、お知らせいたします。

これにより、標準家庭(1ヶ月あたり15m³ご使用)への影響は、2023年2月検針分と比較して、136円の引き下げとなります。

なお、2023年2月検針分のガス料金から、電気・ガス価格激変緩和対策事業の政府支援を踏まえた値引きが反映されています。

○一般契約料金

(消費税込)

| | 使用量区分 | 基本料金 (円/月) | 単位料金(円/m ³) | | 影響額 (円/m ³) |
|------|--|---------------|-------------------------|--------|----------------------------|
| | | | 3月 | 2月 | |
| 料金表A | 0m ³ から 18m ³ まで | 876.70 | 231.02 | 240.11 | -9.09 |
| 料金表B | 18m ³ を超え139m ³ まで | 1,483.90 | 198.03 | 207.12 | -9.09 |
| 料金表C | 139m ³ を超える場合 | 1,985.50 | 194.42 | 203.51 | -9.09 |

(注)各月のご使用量に応じて、A～Cの各料金が適用されます。

○標準家庭における影響

(消費税込)

| 1ヶ月のご使用量 | 3月のガス料金 | 2月のガス料金 | 影響額 |
|------------------|---------|---------|--------|
| 15m ³ | 4,342 円 | 4,478 円 | -136 円 |

(注)標準家庭のガス使用量は、平成23年度の平均使用量実績に基づき算定しています。

*ガス料金の計算方法

$$\text{ガス料金} = \text{基本料金 (税込)} + \text{単位料金 (基準単位料金(税込) + 原料費調整による調整額(税込))} \times \text{使用量}$$

(円未満切り捨て)

<参考資料>

1.平均原料価格について

<平均原料価格の算出式>

$$\begin{aligned} \text{平均原料価格} &= \text{LNG平均価格} \times 0.9788 + \text{プロパン平均価格} \times 0.0233 \\ &= \underline{141,670} \text{ (円/t)} \times 0.9788 + \underline{92,810} \text{ (円/t)} \times 0.0233 \\ &= \underline{140,830} \text{ (円/t)} \text{ (10円未満四捨五入)} \end{aligned}$$

■原料価格の動向

(円/t)

| | 2022年10月～2022年12月 (3月検針分) | 2022年9月～2022年11月 (2月検針分) | 基準平均原料価格 |
|----------|------------------------------|-----------------------------|----------|
| 平均原料価格 | 140,830 | 151,030 | 50,150 |
| LNG平均価格 | 141,670 | 152,010 | |
| プロパン平均価格 | 92,810 | 96,380 | |

$$\begin{aligned} \text{原料価格変動額} &= \text{平均原料価格} - \text{基準平均原料価格} \\ &= \underline{140,830} \text{ (円/t)} - \underline{50,150} \text{ (円/t)} \\ &= \underline{90,600} \text{ (円/t)} \text{ (100円未満切捨て)} \end{aligned}$$

2.単位料金の調整について

<単位料金の算出式>

$$\begin{aligned} \text{単位料金} &= \text{基準単位料金} + \text{単位料金調整額} \\ \text{単位料金調整額} &= 0.081 \text{ (円/m}^3\text{)} \times \text{原料価格変動額} \text{ / } 100 \text{ (円/t)} \times (1+\text{消費税率}) \\ &= 0.081 \text{ (円/m}^3\text{)} \times \underline{90,600} \text{ (円/t)} \text{ / } 100 \text{ (円/t)} \times 1.1 \\ &= \underline{80.72} \text{ (円/m}^3\text{)} \text{ 小数点第3位切捨て} \end{aligned}$$

(※)原料価格変動額100円/tにつき、1m³あたり0.081円調整します

(円/m³)

| | 基準単位料金 | 単位料金調整額 | 3月単位料金 |
|------|--------|---------|--------|
| 料金表A | 180.30 | 50.72 | 231.02 |
| 料金表B | 147.31 | | 198.03 |
| 料金表C | 143.70 | | 194.42 |

(消費税込)

※政府の支援で、30円/m³が値引きされています

【原料費調整制度の概要】

- 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金(1m³あたりの単価)を調整する制度です。
- 「基準平均原料価格(50,150円/t)」と「平均原料価格(料金適用月の5ヶ月前から3ヶ月前の3ヶ月平均におけるLNG、プロパンの輸入価格より算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、1m³あたり0.081円単位料金を調整いたします。
- 原料価格の変動については、LNG、プロパンとも貿易統計実績によります。